

地政学的リスク

スウェーデンの政治学者ルドルフ・チェレーン（Rudolf Kjellen 1864～1922）によって考案された地政学（geopolitics）を用い、地理的な位置関係が国際関係に与える影響を研究する社会科学の学問であり、特定地域の軍事・政治的緊張などが与える影響・リスクを意味する。米国連邦準備制度理事会（FRB）が2002年9月に出した声明で使用したことで頻繁に用いられ始めた。最近の石油市場関連で用いられる時には、イラン、イラクなど中東産油国やロシア、ナイジェリア、ベネズエラなどの産油国や産ガス国の治安・経済・社会情勢が石油の需給関係や市況に及ぼす影響を指す。

チャンピオン交渉

特定商品について、売り手、買い手の業界をそれぞれ代表する2社で価格交渉し決定すること。決定価格は指標価格として、売買双方の業界が取引に準拠することが期待される。石油の場合、ローサルファーC重油は日石三菱と東京電力、ハイサルファーC重油は日石三菱と新王子製紙、路線トラック運送会社向け軽油は昭和シェル石油と西濃運輸が、それぞれチャンピオンとして価格交渉をしている。最近は買い手が購入コストを引き下げするため、チャンピオン交渉に代わって入札制を採用する傾向にある。

中間留分

原油を精製して得られる各留分のうち、ガソリン・ナフサ留分と重油留分の中間の留分をいう。製品としては、ジェット燃料、灯油、軽油、A重油(95%が軽油留分、5%がC重油の混合製品)が該当し、4油種を合わせて「中間四品」という。

調整併課

消費税導入に際して、一般の商品は物品税など従来の消費税を廃止したり減税(調整)して新たに消費税を賦課した。石油の場合はガソリン税、軽油引取税、石油税など従来の石油諸税の上にさらに消費税を単純に上乗せして賦課した。石油業界では他の商品と同様に石油も「調整併課」方式の採用を要求している。

CIF 価格

FOB（本船渡し）に対し、商品価格のほか運賃および保険料込みの仕向け先揚げ地着価格のこと。リスク負担はFOBと同様、積地における本船積み込み時点で買主側に移転する